

里みちこさんから手づくり暖簾  
をいただきました。



東奥谷教室

駐車場から風に吹かれて  
歩く間も心が何かホツとし  
て楽しく歩きました。里さ  
んのやわらかいお声に  
すーっと招きいれられるよ  
うに詩語りをお聞きしまし  
た。母が亡くなりぽかっと  
空いた時間と心の空間に、  
じんわりと温かく浸みてく  
るものがありました。この  
出会いに感謝します。

(雲南市・女性)

言葉の大切さ、おもしろ  
さ、豊かさを感じることに  
できました。もっとお話を  
聞きたいです。子どもたち  
にも聞かせたいと思いまし  
た。

(松江市・女性)

久しぶりに里さんにお会  
いしてうれしかったです。い  
つも思うのですが、話題が  
豊富で聞く者をどんどん引  
き込む詩語りでした。

(出雲市・男性)

里さんの「一人の人を救  
う」気持ちが大きき活動に  
なり、多くの人を立ち上が  
らせることになっている。  
出発点が本物の愛だからな  
んだろうなあと感じまし  
た。里さんのお話には広く  
て深い背景があつて、それ  
を感じられるお話し会でし  
た。自分も自分にできるこ  
とを少しずつやっていきたく  
いと思えます。

(松江市・女性)

#### 第4回活活寄席

### 里みちこ詩展ーいのちの四季ー

11 / 18 ~ 20

たくさんの方の来場ありがとうございました



開催前日になって会場ご近所の方  
が快く駐車場を提供してくださった  
り、お客様に急遽スタッフに変身して  
いただいたり。おかげで三日間、無事  
に開催することができました。実に  
多くの方々に多方面で支えていただ  
きました。この場を借りてお礼申し  
上げます。

(女性)

いただいた感想を紙幅の都合でほ  
んの一部ですが、掲載します。ホーム

ページには、全文掲載しています(松  
江算数活塾で検索)。

すごく得した気分です。明日からの  
仕事にプラスしたいです。カ行で生  
きていきます。

(出雲市・女性)

(6ページに続く)



# 初高座大成功

文／宮森健次・撮影／佐野明美

ご報告いたします。



11月25日(日)市内学園にある「学園デイサービス」に招かれ、初めての「活活子ども寄席」に臨みました。

出演前に所長さんから、「利用者さんには何も言っていない」と事前予告をあえてしなかったことを知らされましたが、子どもたちが会場に入ると、「まあ、かわいい」とあちこちから歓声が上がリ、雰囲気が一気に盛り上がりました。職員の皆さんの粋な計らいです。

トップを務めたのはふらめん子さんですが、これまでの稽古で毎回教室ご近所の皆さんに聞いてもらっているので堂々としたものです。大いに会場を沸かせました。小咄中、ぬいぐるみ



活塾亭あーと 瑞葉さん 活塾亭ふらめん子

を抱きしめて頬ずりする場面がありますが、お年寄りたちから一斉に「あー」「おー」などの声が上がりました。迫真の落語への賛辞です。続いて登場したあーとさん、耳の不自由な人もいると聞いて、言葉一つ一つを大切に、大きく、はっきり、間を空けて語りました。小咄は登場人物の会話をこれまで以上に取り入れて物語の世界を深めました。さらに『じゅげむ』は、長い名前を繰り返す度に笑い声上がる見事な一席になりました。

落語の後は、瑞葉さんを加えて三人でフラメンコを踊りました。手拍子、「オレ！」の掛け声が場内に響き渡りました。瑞葉さんは、始めてまだ半年にもなりません、笑顔でテンポよく踊り、舞台をひととき華やかにしました。二人の落語を聞いて自分もやってみたくなりました。

で、新しい塾生誕生とあいなりました。次回の高座は「花の中三トリオ」(古い...)を向こうに回して「花の小一トリオ」が実現しそうです。

高座を終えると「上手だったよー」「よくあれだけ覚えて話せるねえ」「また来て聞かせてね」「フラメンコすてきだったよ」と利用者の皆さんから口々に声をかけられ、子どもたちもみんな満足そうでした。中には年齢差九十年超の大先輩もいらつしやいましたが、こんな方たちと直接言葉交わすことができると「活活子ども寄席の醍醐味。自分の話や踊りに心動かし、歓声を上げ、拍手をし、大いに笑ってくださった皆さんを前にして、子どもたち一人一人の心に宿ったもの、それがこれからのように子どもたちの暮らしを彩るのか楽しみです。